

最先端観光コンテンツ インキュベーター事業
「地域活性化に向けた観光コンテンツ拡充推進会議」第1回 議事要旨

- 日 時： 2018年9月13日(木)10:00～12:00
- 出席者： 別紙「出席者名簿」のとおり
- 場 所： AP 東京丸の内 BC 会議室(日本生命丸の内ガーデンタワー3階)
- 議 題： 1. 開 会
2. 議 事
- 1) 本事業の趣旨・目的について
 - 2) 本事業の実施概要と今後の進め方について
 - 3) 意見交換
3. 閉 会

概要：

開会の挨拶後、事務局より議事 1)本事業の趣旨・目的について、及び 2)本事業の実施概要と今後の進め方について説明し、議論を行った。以下、その要約。

1. 本事業の趣旨・目的について

- 1 人当たりの旅行消費額の向上を試みようとした場合、有効な観光戦略を立てるためにも、各地域レベルのデータを調査・分析するべきではないか

2. マーケティング調査について

- 本調査を通じてペルソナに踏み込んでいくアプローチは妥当と感じる。他方、現時点の整理は大枠での整理に留まっている印象を覚える
- 調査対象がどのようなものを求めていくかというインサイトを調査で明らかにしていくべき
- 事業の目的を達成するためには、データの結果に対するアクションを誰が起こすのかという落としどころを持つべき

3. 各テーマの調査事業及び課題(仮説)について

- 全体共通
 - 3Cの視点を踏まえ他国のコンペティターと日本が有する強みが交わる部分を評価すべきと考える。特に、「健康」というテーマは潜在的に強いニーズがあるのではないか
 - 調査結果を踏まえた各種観光テーマの課題の仮説設定が淡いのではないか
- 最先端ICTを活用した観光
 - 各旅行フェイズ(旅前・旅中・旅後)で何を VR・AR で実現したいのかという戦略を組むことが重要
 - VR・AR コンテンツには著作権の問題が付随するので、その点についても留意してほしい(例;文化財に係る VR・AR コンテンツの制作後に、著作権の帰属について国との調整が必要な場合がある等)
- ビーチ
 - ビーチの経済性向上を考える場合、ビーチ単体でなく、ビーチとどのようなアクティビティの組み合わせにニーズがあり、経済効果が期待できるのかを考えるべきである
- お祭り
 - お祭りは、地域に人が集まることによる効果のみならず、お祭りだからこそ伸ばすことができる消費、生むことができる消費を明確にした方がいいのではないか
 - マーケットを意識し、お祭りを訪日外国人にどのように楽しんで、喜んでもらうのかを念頭において事業を実施するべきではないか
 - 各地域のお祭りが抱えている問題等を調査し、お祭りが抱えている問題と訪日外国人のニーズをマッチングさせる新しいビジネスモデルを考えられないか。例えば、お祭り

の担ぎ手がない地域において、訪日外国人に担ぎ手になってもらうという方法もあり得るのではないか

- 美容
 - 「美容」という表現は女性のフェイシャルに関連するものであるような印象を受けるため表現は検討すべき
- 夜間の観光資源
 - ナイトタイムエコノミーを考える上では、時間のスロット単位での視点(提供サービス、顧客、市場)が必要であるため、そのような視点をもって取り組んでいくべきではないか

4. モデル事業について

- 全体共通
 - 官民でモデル事業を行う意図を踏まえ、事業継続性を重要視し、持続性のある事業を初期段階でサポートし、課題と一緒に解決していくような事業を支援すべきである。特に、熱意があり資金を必要としている地域の事業者を支援すべきではないか
 - モデル事業ではプロダクトアウト型のサービスではなく、ユーザーインサイトや世界でのトレンドを踏まえて、日本への強みを発揮していくアプローチを考えるべきである
 - 事業の実施前に海外の有識者の意見や、本事業の調査結果を反映できるような仕組みがあるとよい
- 最先端ICTを活用した観光
 - VR・AR コンテンツ単体での費用回収には限界があると考えているので、VR・AR はあくまでフックであるという前提で、事業との相乗効果が発生する場面を明確にして欲しい
 - VR・AR だからこそ、単なる動画では提供できない付加価値を生み消費単価の向上に寄与する仕組みを適切に検証できるよう、KPIを設定してほしい
- 夜間の観光資源
 - 市場や雇用を持続的に創出していくという視点を盛り込めるとよい

5. 今後の事業方針

- 今年度のモデル事業の今後の進め方
 - モデル事業の成果をより確実なものにするためにも、モデル事業の実施前に委員から各モデル事業に対して具体的なアドバイスやブラッシュアップを図れる仕組みが必要と考える
- 来年度のモデル事業の実施方針
 - 来年度のコンテンツについては、今年度の事業を通して見えてくると考えられるので、それを踏まえて条件を細かく絞って公募をかけるというアプローチもあるのではないか
 - モデル事業には、客単価を上げるというメッセージが強調され短期的視点が先行している印象を受けるものもあるため、各テーマ毎に目指すべき全体像が明確に伝わるよう

に、モデル事業の情報発信について考えるべきである

6. その他

- 翻訳が不適切であるとコンテンツ自体の信頼性を毀損する場合は懸念されるため、十分に配慮いただきたい

以 上